# 看護しずおか

令和2年度
vol. 1

初夏の富士山

特集

令和2年度 公益社団法人

## 静岡県看護協会定時総会概要版

日時　令和2年6月30日（火）13:00～15:00
場所　静岡県看護協会第一研修室

会員数
20,451名
（令和2年5月1日現在）

- 保健師 …… 498名
- 助産師 …… 787名
- 看護師 … 18,492名
- 准看護師 …… 674名

# 令和2年度 定時総会に向けて

公益社団法人静岡県看護協会
会長　渡邊 昌子

令和2年に入り、全世界で新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）のパンデミックにより、医療や経済に大きな影響をおよぼしています。

会員の皆さまにおかれましては、感染症指定病院をはじめ医療機関、地域・在宅、行政等において、コロナの対応にご尽力いただいておりますことに心より感謝するとともに敬意を表します。

本会はこの状況を受け、厚生労働省や日本看護協会の方針のもと、会員の皆さまの安全・安心を第一に考え、令和元年度2月後半から年度末に予定していた事業・会議等を中止・延期といたしました。実施できなかった「看護職連携事業」や「訪問看護出向事業」の実践報告会は、今年度開催といたします。

さて、6月30日開催予定の令和2年度定時総会は、コロナ感染症拡大防止のため縮小しての開催といたします。委任状を提出される方は、総会概要について目を通していただき、事前にご質問、ご意見をメールでお寄せいただきたいと思います。何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今こそ看護の力と団結力が試される時だと思います。本年度は、コロナ対策の強化に努めるとともに看護の質を低下させず、働き続けられる環境作りの支援に注力いたします。皆さまの声を大切に、日本看護協会と連携し、本会の理念を基に看護職を取り巻く課題解決に向け尽力してまいります。

**令和2年度の重点事項は、昨年度と引き続き次の5項目**です。重点事項1は、看護提供体制の推進から一歩進め、「推進」を「強化」に変更いたしました。

**1.地域包括ケアにおける看護提供体制の強化**

4年目を迎えた「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業」は、評価の年といたします。県内全域へネットワークを拡大するために、3職能のそれぞれの専門性を発揮し、さらなる地域包括ケアにおける強化を図り、県民も参画したネットワークを推進します。また、「病院看護職員の訪問看護ステーションへの出向事業」を県行政の基金を活用し展開します。

**2.少子・超高齢・多死社会に対応できる看護職の育成**

看護の質向上のための教育研修は、認定看護管理者ファーストレベル教育課程の定員数を120名に増員するなど、さらに充実させ会員の皆さまの満足感につながるよう取り組みます。また特定行為研修については、本年度教育機関が県内3か所で開講し、研修受講者が増加していることを鑑み、広報活動の継続と研修修了生の活躍の拡大ができるよう支援します。

**3.看護基礎教育制度改革の推進**

昨年に引き続き、教育機関関係者との「看護基礎教育を考える会」を実施します。新規事業は「看護職のあり方に関する基本的な考え方の普及」として、日看協が作成した「看護チームにおける看護師・准看護師・看護補助者の業務の相方に関するガイドライン」等を基に研修会を開催し周知します。

**4.健康で働きつづけられる職場環境改善の推進**

今般のコロナの対応をはじめ頑張って働いている看護職の皆さまが、意欲をもって生き生きと働き続けられるよう職場環境の改善の推進に向け取り組みます。

また、看護職確保に向け、看護職の離職防止や再就業支援等ナースセンター事業に、より活発に取り組みます。

**5.地域における看護職の活動推進**

災害支援の拡大をめざし、地域・在宅での災害看護の支援が行える看護師の養成を行うともに、既存の災害看護体制の再構築を地域とともに実践していきます。

今後とも、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和元年度　第5回定時理事会報告

■開催日時令和2年3月17日（火）予定理事会は、新型コロナウイルス感染防止のため、みなし決議とした。（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定に基づく）

すべての事項について理事全員が同意され、監事全員が異議なしとした。

1.協議事項
- （1）令和2年度　事業計画（案）
- （2）令和2年度　収支予算書（案）
- （3）職能委員会委員の選任（案）
- （4）委員会委員の選任（案）
- （5）公益社団法人静岡県看護協会規程の一部改正（案）

2.報告事項
- （1）代表理事・業務執行状況報告
- （2）行政機関・関係団体の役員・委員の就任状況について
- （3）令和2年度特別委員会委員について
- （4）令和元年度会費納入状況
- （5）令和2年度行事計画

令和2年度 公益社団法人静岡県看護協会

# 定時総会プログラム

| | |
|---|---|
| 開 催 日 | 令和2年6月30日(火) |
| 開催場所 | 静岡県看護協会第一研修室 |

13:00　オリエンテーション
　　物故会員への黙とう

13:10　開会のことば
　　会長挨拶

13:15　議長団選出
　　議事録署名人・書記選出

13:20　議案第1号　補欠役員の選出について
　　議案第2号　令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について
　　議案第3号　入会金の額の変更について
　　報告第1号　令和元年度事業報告
　　議案第4号　令和元年度決算書(案)及び監査報告
　　報告第2号　令和2年度重点事項及び事業計画
　　報告第3号　令和2年度収支予算

　　次年度選挙管理委員任命

15:00　閉会

※・新型コロナウィルスの感染防止のため、規模を縮小して開催します。
　・会員の皆様には委任状の提出をお願い致します。
　・参加者の健康・安全を考慮し感染防止対策には、十分留意し実施します。

## 令和2年　春の叙勲受章おめでとうございます。

| | | |
|---|---|---|
| 瑞宝双光章 | 望月美貴子 | 元県立総合病院副院長兼看護部長 |
| 瑞宝単光章 | 櫻井　郁子 | 元県立こども病院看護部長 |

議案第1号

# 補欠役員の選出について

| 役職名 | 辞任届提出者 | 辞任届提出者 | | 任　期 |
|---|---|---|---|---|
| | | 氏　　名 | 所属施設 | |
| 学識経験者<br>理事 | 松浦　康夫 | 髙橋　邦典 | 静岡県社会福祉協議会 | 令和2年定時総会終結後から<br>令和3年定時総会終結時まで |

議案第2号　　令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

## 令和3年度日本看護協会代議員･予備代議員候補者名簿

| 種類 | | 職種 | 名　前 | 施　設 |
|---|---|---|---|---|
| 代議員 | 1 | 看護師 | 間淵 元子 | 静岡赤十字病院 |
| | 2 | 看護師 | 柏崎 順子 | 公益社団法人 静岡県看護協会 |
| | 3 | 看護師 | 松井 順子 | 公益社団法人 静岡県看護協会 |
| | 4 | 保健師 | 土屋 厚子 | 個人 |
| | 5 | 助産師 | 西郷 美智子 | 静岡徳洲会病院 |
| | 6 | 看護師 | 松本 志保子 | 岡本石井病院 |
| | 7 | 准看護師 | 松下 直美 | 静岡徳州会病院 |
| | 8 | 看護師 | 小川 秋美 | 西伊豆健育会病院 |
| | 9 | 看護師 | 石井 広美 | 中伊豆温泉病院 |
| | 10 | 看護師 | 齊藤 博子 | 藤枝平成記念病院 |
| | 11 | 看護師 | 岩品 希和子 | 浜松医科大学医学部附属病院 |
| | 12 | 看護師 | 矢田 みどり | 順天堂大学医学部附属静岡病院 |
| | 13 | 看護師 | 高木 てるみ | 沼津市立病院 |
| | 14 | 看護師 | ボッグズ 葉末 | 静岡市立静岡病院 |
| | 15 | 看護師 | 植松 知子 | 静岡赤十字病院 |
| | 16 | 看護師 | 大塚 香織 | 市立島田市民病院 |
| | 17 | 看護師 | 岡本 律子 | 市立御前崎総合病院 |
| | 18 | 看護師 | 山崎 律子 | 浜松市リハビリテーション病院 |
| | 19 | 看護師 | 國井 るり子 | JA静岡厚生連 遠州病院 |
| | 20 | 看護師 | 中村 典子 | 総合病院 聖隷浜松病院 |
| | 21 | 看護師 | 山田 弘美 | 聖隷三方原病院 |

| 種類 | | 職種 | 名　前 | 施　設 |
|---|---|---|---|---|
| 予備代議員 | | 看護師 | 戸塚 美晴 | 富士市立中央病院 |
| | | 看護師 | 小澤 久美 | 静岡県立こども病院 |
| | | 看護師 | 梅原 佳代子 | 静岡赤十字病院 |
| | | 看護師 | 高橋 涼子 | 静岡赤十字病院 |
| | | 看護師 | 杉村 ますみ | 藤枝市立総合病院 |
| | | 看護師 | 池田 尚子 | 市立島田市民病院 |
| | | 助産師 | 北堀 昌代 | 聖隷三方原病院 |
| | | 看護師 | 平川 千代 | 沼津市立病院 |
| | | 看護師 | 加茂川 小百合 | 藤枝平成記念病院 |
| | | 看護師 | 太田 優子 | 市立御前崎総合病院 |
| | | 看護師 | 岡田 智子 | 総合病院 聖隷浜松病院 |
| | | 看護師 | 杉浦 定世 | 総合病院 聖隷浜松病院 |
| | | 保健師 | 中西 湖雪 | 聖隷健康診断センター |
| | | 看護師 | 小澤 広美 | 富士宮市立病院 |
| | | 准看護師 | 梶山 瑞穂 | 静岡厚生病院 |
| | | 看護師 | 河井 友子 | 静岡県ナースセンター |
| | | 看護師 | 戸田 美也子 | 浜松ゆうゆうの里 |
| | | 看護師 | 鈴木 和美 | 伊東市民病院 |
| | | 看護師 | 磯崎 まさ代 | 新富士病院 |
| | | 看護師 | 牛之濱 千穂子 | 静岡済生会総合病院 |
| | | 看護師 | 津島 準子 | 公立森町病院 |

議案第3号

# 入会金の額の変更について

【提案理由】

当協会の入会金の額は、社団法人当時の平成14年4月に改訂した以降は変更されておらず、現在の東海・北陸地域等の他県協会の額と比較しても、最も低い水準にある。

一方、協会施設は、現在の建物の建設以来17年を経過し、施設設備、備品類の更新時期を迎えており、令和元年度においては、研修室の壁紙の張替えを行ったほか、プロジェクターの1機が経年劣化による故障のため、交換修理を行うなど、比較的規模の大きな支出が目立つ事態となっている。

また、この間、平成25年には公益法人移行による経理事務量の増加に対応するシステムや人件費の増加があり、消費税についても、平成26年（5%⇒8%）、令和元年（8%⇒10%）の引き上げなど運営経費を圧迫する要因が続いている。

当協会としては、今後も会員に対して、快適で利用しやすく機能も優れた会館の環境を提供していくためには、こうした施設設備の経年劣化に対応した計画的な更新とともに、ICT化に対応するための新規投資などを図っていく必要がある。

そこで、これらに必要な経費を確保するため、公益社団法人静岡県看護協会定款第13条1項1号の規定に基づき、本総会において入会金の額の変更を提案する。

【変更案】

令和3年4月1日以降に入会する正会員の入会費の額を、13,000円から15,000円に変更する。

(参考)東海・北陸地域等の入会費

| | 入会費（円） | 会　費（円） | 会員数（人） |
|---|---|---|---|
| 静岡県 | 13,000 | 5,000 | 21,603 |
| 神奈川県 | 20,000 | ＊ 6,000 | 36,974 |
| 愛知県 | 建築積立協力金として1万円の寄付を要請 | 5,000 | 38,461 |
| 岐阜県 | 20,000 | 7,000 | 12,103 |
| 三重県 | 20,000 | 5,000 | 10,555 |
| 福井県 | 30,000 | 9,000 | 6,447 |
| 石川県 | 35,000 | 6,000 | 9,686 |
| 富山県 | 40,000 | 6,000 | 8,534 |

＊ 70歳以上3,000円

報告第1号

# 令和元年度　事業報告

＊下線は新規事業

○事業項目1　教育等看護の質の向上に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)人材育成を促進するための継続教育 | ①看護実践能力の育成　（13研修）　計1,076名受講<br>②組織的役割遂行能力の育成　（19研修）　計1,090名受講<br>③自己教育の推進　（1研修）　69名受講<br>④特別研修　（3研修）　計90名受講 |
| (2)資格認定教育 | ①認定看護管理者教育<br>・認定看護管理者教育課程ファーストレベル　（22日間）　84名修了<br>・認定看護管理者教育課程セカンドレベル　（32日間）　35名修了<br>・認定看護管理者教育課程サードレベル　（33日間）　30名修了<br>・セカンドレベルフォローアップ研修（平成30年度修了者）8月6日（火）34名受講 |
| (3)静岡県からの受託研修 | ①新人看護職員研修<br>・「新人看護職員研修－多施設合同研修－(6日間)」39名受講<br>・「新人看護職員指導者研修　研修責任者研修(5日間)」21名修了<br>・「新人看護職員指導者研修　教育担当者研修(5日間)」39名修了<br>・「新人看護職員指導者研修　実地指導者研修(5日間)」35名修了<br>②静岡県専任教員養成講習会　令和元年6月3日～令和2年2月14日　26名修了<br>③重症心身障害児（者）対応看護従事者養成研修　8月3日（土）56名修了<br>④看護職員実習指導者等講習会－特定分野－(7日間)」16名受講<br>⑤看護教員継続研修<br>・成長段階別研修(3日間)26名修了<br>・トピックス研修（1日）88名修了<br>⑥高齢者権利擁護等推進事業「看護実務者研修」(2日間)<br>12月15日（日）・16日（月）静岡県看護協会　57名受講<br>⑦看護の質向上促進研修Ⅰ・Ⅱ　327名受講（Ⅰ-184名　Ⅱ-143名）<br>Ⅰ　伊豆　9月12日（木）伊東市民病院　8名受講<br>東部　11月14日（木）静岡がんセンター　50名受講<br>中部　令和2年1月10日（金）静岡県看護協会　74名受講<br>西部　8月1日（木）アクトシティ浜松　52名受講<br>Ⅱ　伊豆　10月5日（土）・11月9日（土）下田メディカルセンター　10名受講<br>東部　9月21日（土）・10月19日（土）プラサヴェルデ　32名受講<br>中部　8月31日（土）あざれあ　24名受講<br>令和2年2月1日（土）静岡県看護協会　15名受講<br>西部　8月24日（土）・9月7日（土）アクトシティ浜松　62名受講<br>研修科目:感染予防対策・医療安全対策・認知症看護・地域包括ケア支援における看護職の役割<br>⑧看護職員管理者の相互研修<br>「暮らしをつなげる看護職員のための研修」(4日間)　61名受講<br>3地区合同　6月25日（火）・7月2日（火）静岡県看護協会<br>東部　10月 2日（水）三島商工会議所　24名受講<br>中部　8月29日（木）静岡県看護協会　15名受講<br>西部　9月 4日（水）アクトシティ浜松　22名受講<br>⑨静岡県看護職員認知症対応力向上研修「－認知症ケア体制構築推進者研修－」(3日間)<br>7月5日（金）・8日（月）・9日（火）静岡県看護協会　69名受講<br>⑩病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修（3日間）550名受講<br>東部　7月26日（火）プラサヴェルデ沼津　223名受講<br>中部　10月17日（木）グランシップ　223名受講<br>西部　6月18日（火）アクトシティ浜松　104名受講 |

| | |
|---|---|
| (4)看護研究 | ①静岡県看護協会「静岡県看護学会」の開催　令和2年1月18日(土)363名参加<br>②地区支部による「看護実践報告会」等の開催 |
| (5)学術研究振興支援 | ①研究能力の育成<br>・「看護研究の第一歩－研究テーマの絞込み－」(2会場)<br>【東部】7月6日(土)40名受講、【中部】6月19日(水)54名受講<br>・「看護研究の基礎－研究計画書にトライ－」(2会場)(3日間)<br>【東部】8月 8日(木)・ 9日(金)・9月12日(木)　17名受講<br>【中部】8月22日(木)・23日(金)・9月21日(土)　23名受講<br>・「効果的なプレゼンテーション技法」10月26日(土)　53名受講 |

○事業項目2　看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)保健師・助産師・<br>看護師業務に係る事業 | ①保健師職能委員会　10回開催<br>・保健師研修会　10月19日(土)　40名参加<br>・3職能交流会　9月21日(土)　121名参加<br>・保健師・助産師合同集会　1月25日(土)　63名参加<br>②助産師職能委員会　11回開催<br>・助産師実践能力強化研修－周産期領域の倫理的課題－　7月6日(土)46名参加<br>・3職能交流会　9月21日(土)　121名参加<br>・保健師・助産師合同集会　1月25日(土)　63名参加<br>③看護師職能委員会Ⅰ(病院領域)　10回開催<br>・准看護師研修会・進学説明会　7月 6日(土)　55名参加<br>・中間管理者交流会　12月 7日(土)　112名参加<br>・3職能交流会　9月21日(土)　121名参加<br>④看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)　11回開催<br>・地区別看護職員研修交流会(3会場)合計100名参加<br>【西部】10月18日(金)33名参加　【東部】11月22日(金)24名参加<br>【中部】12月14日(土)43名参加<br>・3職能交流会　9月21日(土)　121名参加<br>⑤看護補助者の活用推進のための看護管理者研修　11月22日(金)134名受講 |
| (2)医療安全の推進 | ①医療安全情報の発信<br>②医療・看護安全相談　相談件数:39名　相談者:看護職17名、県民22名 |
| (3)看護制度に関する<br>事業 | ①准看護師の進学と資質向上への支援<br>・看護師2年課程(通信制)に関する情報提供<br>・准看護師研修会(再掲)　・修学金制度の周知<br>②看護関連政策の充実<br>・静岡県への要望　・静岡県議会への要望　・静岡県看護連盟との連携<br>③特定行為研修受講者の増加に向けた広報普及活動<br>④看護政策推進のための組織強化事業(日看協モデル事業)参加 |

○事業項目3　看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)働き続けられる職場<br>環境づくりの推進 | ①看護職の労働条件・労働環境改善<br>・第1回労働環境に関する研修会「－ハラスメント対応について学ぶ－」<br>6月22日(土)もくせい会館　70名受講<br>・第2回労働環境に関する研修会「－ベテラン看護職がやりがいを持って働き続けられる－」<br>11月9日(土)静岡県看護協会　48名受講<br>・「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して」－看護管理者の取り組み－<br>5月26日(日)静岡県看護協会　76名受講<br>・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターとの連携推進 |

| | |
|---|---|
| (2)看護職の確保・定着<br>及び就業支援の推進 | ナースセンター事業<br>「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、静岡県より委託を受け実施している事業である。<br>①ナースバンク事業<br>・看護職の求職相談・医療機関等からの求人相談、求人施設訪問（26施設）<br>・求人・求職マッチング強化<br>・看護職離職時等届出制度の推進と活用による就業支援（届出数898名）<br>・再就業移動相談:県内14カ所のハローワークにおける移動相談（相談者282名）、求人施設参加のミニ就業相談会（参加171施設）の実施<br>・ナースセンター・ハローワーク連携事業による再就業支援の実施（連携279名）<br>・ハローワーク職員セミナー:県内15カ所のハローワーク（職員213名参加）<br>・静岡県看護職員確保対策連絡協議会の開催（2回）<br>②潜在看護職員等再就業支援事業<br>・再就業準備講習会（7回:93名参加）<br>・介護施設等再就業研修（3回:35名参加）<br>・病院・訪問看護ステーション派遣型再就業研修（2名参加）<br>・地域でつくる協働開催型就業相談会:ナースのお仕事フェア（8会場で開催:来場者158名、参加施設115施設）<br>・看護技術演習（本所・東部支所・西部支所）121名参加<br>・県内外者へのUIJターン促進（移住フェア参加2回、県外看護大学訪問8校、県内高等学校訪問5校、意見交換会2回）<br>・交流会開催:子育てママの活き活きカフェ（3回:12名参加）<br>③「看護の心」普及・啓発事業<br>・「看護の日・週間」記念事業（来場者:344名）<br>・ふれあい看護体験（19施設で実施、52名参加）<br>・高校生1日ナース体験（126校から参加、1,571名参加）<br>・看護の出前授業:小・中・高等学校（36回）<br>・看護職こころざし育成セミナー（163名参加）<br>・看護学校等進路説明・相談会（3会場:928名参加）<br>④離職防止対策事業<br>・相談機能の充実（悩み事相談:139件）<br>・退職者（個人）調査（回収数:234名）<br>・再就業者フォローアップ研修（2回:74名参加）<br>・セカンドキャリアセミナー（2回:49名参加）<br>・ナースセンター新人看護職員研修（42名参加）<br>・新人教育に関する相談及び助言（2件）<br>⑤令和元年度看護職のキャリアと働き方支援による地域に必要な看護職確保推進事業」への取組<br>・藤枝市にワーキンググループ設置（地域の課題に応じた具体策の検討・実施）<br>・主な事業:ナースのお仕事フェア、子育てママの活き活きカフェ<br>⑥ナースセンター連絡会議（7回）<br>⑦ナースセンター職員研修（2回:内1回は他県ナースセンターと合同開催）<br>⑧看護職員確保のための諸会議への参画<br>⑨広報活動<br>・医療施設訪問（21施設:353名の看護管理者に広報）<br>・看護師等学校養成所訪問（15校:728名の看護学生に広報）<br>・市町広報誌等への掲載<br>・ナースセンターホームページとメールマガジンの活用<br>・看護しずおか「ナースセンターだより」掲載（年6回）<br>・ナースセンターだよりプラス発行（年3回）<br>・「ナースのお仕事ガイドブック2020」3,000部発行（県内165施設の求人情報掲載）<br>・高校生向け広報誌「看護へGO!」1,000部発行<br>・マスコミへの情報提供 |

○事業項目4　在宅ケアの推進及び支援に関する事業

<table>
<tr><th>事　業　細　目</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>(1)訪問看護ステーション・<br>居宅介護支援事業所<br>の運営及び地域支援</td><td>①協会立訪問看護ステーション・指定居宅介護支援事業所の運営<br>訪問看護実績:訪問看護利用者延数　7,415人　訪問件数延件数　35,188件数<br>居宅会議支援事業実績:居宅サービス計画数1,686件　介護予防ケア計画数2件<br>②地域支援<br>・訪問看護ステーション清水・指定居宅介護支援事業所　訪問看護S／T清水<br>第5回介護者の会「さくらばしサロン」、第11回訪問看護ステーション清水<br>地域交流会、第7回地域住民交流会　健康教室<br>・訪問看護ステーション大東・指定居宅介護支援事業所　訪問看護S／T大東<br>第5回家族交流会、JA健康フェア、南部大東ふくしあ健康相談、南部大須賀<br>ふくしあ健康相談、在宅での感染対策を学び、伝授できる研修会<br>・訪問看護ステーション掛川・指定居宅介護支援事業所　訪問看護S／T掛川<br>第6回スイートピーの会（家族交流会）、かけがわ健康フェア、ふれあい広場、<br>東部ふくしあ出張健康相談、西部ふくしあ健康相談、人生の最終段階について<br>考える会、在宅療養に関する研修会<br>・訪問看護ステーションいわた・指定居宅介護支援事業所　訪問看護S／Tいわた<br>第6回いわたキッズと親の交流会、いわたふれあい広場、ふくでふれあいまつり、<br>南交流センターまつり、第3回いわたナース交流会</td></tr>
<tr><td>(2)市、地域包括支援<br>センター等との連携協働</td><td>①行政、看護・介護、福祉等多職種と連携した総合的支援による訪問看護サービスの<br>提供促進<br>②地域包括支援センターと訪問看護ステーションとの合同会議、研修会、医療・介護<br>関係者の事例検討会の開催</td></tr>
<tr><td>(3)訪問看護サービスの<br>質向上及び人材育成</td><td>①訪問看護師養成講習会<br>「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム<br>8月2日（金）・9月17日（火）・10月9日（水）・令和2年1月31日（金）<br>静岡県看護協会　28名受講　集合研修4日間　実習2日間<br>②看護職員管理者の相互研修<br>「暮らしをつなげる看護職員のための研修」（再掲）<br>③訪問看護における「特定行為に係る看護師の研修制度」活用促進<br><u>④訪問看護出向研修支援事業（県受託）</u><br>・4病院・4訪問看護ステーションが参加
<table>
<tr><th>出向元施設名</th><th>出向先施設名</th><th>出向期間</th></tr>
<tr><td>三島中央病院</td><td>総合介護事業所　瑞</td><td>令和元年10月1日～12月31日</td></tr>
<tr><td>藤枝市立総合病院</td><td>志太訪問看護ステーション</td><td>令和元年10月1日～12月31日</td></tr>
<tr><td>中東遠総合医療センター</td><td>トータルケアひかり</td><td>令和元年10月1日～12月31日</td></tr>
<tr><td>浜松労災病院</td><td>訪問看護ステーション浅田</td><td>令和元年10月1日～12月31日</td></tr>
</table>
・訪問看護出向研修支援事業全体研修会<br>12月23日（月）静岡県看護協会　33病院・26訪問看護ステーション参加<br>・訪問看護出向研修支援事業報告書作成関係機関へ送付<br>・（報告会開催延期）</td></tr>
<tr><td>(4)訪問看護関係団体<br>との連携</td><td>①静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議開催<br>・第1回8月8日（木）静岡県看護協会　21名出席<br>・第2回令和2年2月12日（水）静岡県看護協会　27名出席<br>②日本訪問看護財団との連携</td></tr>
</table>

○事業項目5　地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)地域看護活動の推進 | ①8地区支部の活動<br>・まちの保健室:Ⅰ型、Ⅱ型（イベント併設型）<br>・看護教室・健康教室の開催　　・市民講演会の開催<br>・いのちを大切にする授業、出前授業（ナースセンターとの共催）<br>・看護の日・週間記念行事の開催<br>・地域防災訓練への参加　　・地域行政・地域住民との連携事業<br>・静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議<br>②病院・施設との看看連携・協働等<br>・平成30年看看連携を基盤とした地域包括ケア推進事業報告会<br>5月12日（日）　あざれあ大ホール　222名参加<br>・令和元年看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業　7地域参加 |
| (2)他機関、団体との連携活動 | ①「看護の日・看護週間」記念事業　西部地区支部・中東遠地区支部<br>5月11日（土）イオンモール浜松志都呂店　来場者:344人<br>②メディメッセージ2019　静岡地区支部・志太榛原地区支部<br>9月28日（土）29日（日）来場者:約9,000人　看護ブース来場者:3,782名<br>③しずおか元気応援フェア<br>10月12日（台風の影響で中止）10月13日開催　まちの保健室来場者:193名<br>④あざれあメッセ　静岡地区支部<br>10月26日（土）　あざれあ2階大会議室　まちの保健室来場者:341名 |
| (3)ストレス緩和への支援 | ①「ケアする人のケア」<br>各訪問看護ステーションにおける在宅でケアする人、看護・介護職員へのストレス緩和支援<br>・訪問看護ステーション清水　第5回介護者の会「さくらばしサロン」　(再掲)<br>・訪問看護ステーション大東　第5回家族交流会　(再掲)<br>・訪問看護ステーション掛川　第6回スイートピーの会（家族交流会）（再掲）<br>・訪問看護ステーションいわた 第6回いわたキッズと親の交流会　（再掲） |

○事業項目6　防災及び災害支援に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)防災対策に関する事業 | ①防災計画に沿った活動<br>・防災会議を年1回開催　　・防災計画書の追加・修正<br>・衛星携帯電話の保守・活用　　・備蓄品の確保<br>②静岡県総合防災訓練への参画<br>③地区支部における市町の防災会議への参画 |
| (2)災害時の看護支援活動の整備 | ①災害支援ナースの育成研修の実施<br>・災害看護地区研修の実施　　・災害支援ナース育成研修の実施<br>・災害支援ナースの登録・管理　　・災害支援ナース登録者研修<br>②「災害時支援ネットワークシステム」による災害支援ナースの派遣合同訓練および派遣<br>③災害支援ナース派遣に関するサポート体制の整備等<br>④災害看護一般研修Ⅰ、Ⅱの実施<br>⑤行政・他団体と連携した医療救護活動体制の構築 |
| (3)日本災害看護学会 | 日本災害看護学会組織会員として協力 |

○事業項目7　　その他･本会の目的を達成するために必要な事業

･公益目的事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)広報 | ①広報委員会活動<br>･「看護しずおか」年6回発行　　･モニター会議の開催<br>･公式ホームページの充実　　･看護関連情報及び看護協会事業活動の更新<br>②県民及び他機関･他団体への広報強化<br>･マスコミを通じた広報活動　　･看護協会パンフレットの作成･普及<br>③看護の心普及･啓発等（再掲）<br>･看護の日･週間記念行事（再掲）　･看護の出前授業（再掲） |
| (2)施設の貸与 | 看護に関する研修会等を行う関係団体への研修室･会議室の貸出 |

･収益事業等会計

| | |
|---|---|
| (1)会員･役員支援 | ①会員の福利厚生<br>･各種表彰･受章候補者の推薦<br>ア　叙勲　令和元年春　瑞宝単光章　武田恵子　小林貴子　河合みどり<br>令和元年秋　瑞宝双光章　青木春美<br>イ　令和元年度日本看護協会長表彰<br>大瀧厚子　神谷瀧子　久保田君枝　茂木光子　松井千賀子<br>ウ　令和元年度静岡県看護協会長表彰<br>飯沼むつみ　伊藤葉子　春日三千代　勝又理恵　加納江理<br>塩田美佐代　鈴木かおり　鈴木ひろみ　中野悦代　原澤純子<br>星ともこ　牧野仁美　村井京子　山内恭子<br>エ　感謝状<br>小野田武　廣瀬清久<br>･慶弔見舞　　･災害見舞<br>②役員･委員の損害保険対応　　･日本看護協会賠償損害責任保険の紹介 |
| (2)看護研究費助成 | ①看護研究費助成事業<br>②看護職員海外研究視察奨励助成事業 |

･法人会計

①公益社団法人としての組織整備

･諸規定の整備

＜令和2年3月23日施行＞会計経理規則

＜令和2年4月1日施行＞給与規程･施行細則　理事報酬及び退任報奨金支給等規程　旅費規程　非常勤等職員就業及び給与規程･施行細則

②会員数の増加促進

･看護政策推進のための組織強化事業（日看協モデル事業）参加（再掲）

･協会のしおり等の送付　　･看護学校行事等への出席

･退職会員への加入継続の奨励

○会員の内訳と前年比較

| | | 保健師 | 助産師 | 看護師 | 准看護師 | 総　数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就業者数 | H30 | 1,718 | 998 | 32,935 | 6,356 | 42,007 |
| | H28 | 1,626 | 952 | 31,000 | 6,522 | 40,100 |
| 会員数 | R1 | 531 | 816 | 19,507 | 749 | 21,603 |
| | H30 | 548 | 806 | 18,982 | 793 | 21,129 |
| 入会率 | R1 | 30.9% | 81.7% | 59.2% | 11.7% | 51.4% |
| | H30 | 31.8% | 80.7% | 57.6% | 12.4% | 50.2% |

※就業者数は平成30年12月31日調査（静岡県医療従事者調査による）

③新入会員研修会　6回開催　　参加者　合計665名
④地区支部会員交流会
⑤地区支部との支援と連携強化
⑥活動拠点の整備･充実

①運営に関する会議
･定時総会　6月28日(金)グランシップ　中ホール大地
参加者　426名　　委任状　15,261名　　計15,687名
･理事会　5回開催
･常任理事会　12回開催
･医療･福祉施設等看護代表者会議
第1回　5月30日(木)静岡県看護協会　参加者145名
第2回　1月15日(水)静岡県看護協会　参加者111名
1月17日(金)プラサヴェルデ　　参加者　63名
･委員長･地区支部長合同会議
第1回　10月16日(水)参加者27名
第2回　12月10日(火)参加者25名
･地区支部長連絡会議
第1回　5月21日(火) 参加者13名
第2回　12月17日(火)参加者12名
･推薦委員会　10回　　･特別委員会　年6回～12回程度
･総会運営会議　6月13日(木)
･選挙管理委員会　2回
･地区支部会議　1回
②役員･委員の資質向上
･役員委員研修会　7月31日(月)　参加者140名
③日本看護協会との連携
･通常総会(令和元年6月6日(木)～7日(金))
･理事会　年5回以上
･代議員研修会
･地区別法人会員会
･全国職能委員長会
･地区別職能委員長会
･政策責任者会議
･看護労働担当者会議
･新会員情報管理体制担当者会議
･教育担当者会議
･災害看護担当者会議
･ナースセンター事業担当者会議
･ナースセンター相談員研修
･日本看護学会運営会議
･広報担当役員会議
･訪問看護連絡協議会全国会議
･地区別事務担当者会議
･医療安全推進会議

①看護協会ホームページの活用推進と相談への対応
②図書室の管理･運営
③ナースシップ定着への支援
･新規･継続申し込みの受付
･会員入会手続きに関する案内と対応

①関連機関･関係団体との連携
･会議への参加
･後援、推薦、協賛依頼への協力

①看護協会会館の維持管理
②施設設備の整備･保守･管理
③備品の管理
④図書室の充実

議案第4号

# 令和元年度決算書(案)

## 貸 借 対 照 表

令和2年3月31日 現在

（単位：円）

| 科　　目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | |
| 1．流動資産 | | | |
| 現金預金 | 247,183,054 | 268,214,741 | △ 21,031,687 |
| 未収金 | 89,469,148 | 86,964,844 | 2,504,304 |
| 前払金 | 3,783,958 | 3,964,256 | △ 180,298 |
| 立替金 | 440,000 | 14,900 | 425,100 |
| 流動資産合計 | 340,876,160 | 359,158,741 | △ 18,282,581 |
| 2．固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 土地 | 300,000,000 | 300,000,000 | 0 |
| 建物 | 335,801,786 | 344,345,153 | △ 8,543,367 |
| 投資有価証券 | 117,418,209 | 117,420,136 | △ 1,927 |
| 定期預金 | 25,000,000 | 25,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 778,219,995 | 786,765,289 | △ 8,545,294 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 102,827,300 | 93,980,400 | 8,846,900 |
| 役員退職慰労引当資産 | 2,882,167 | 3,987,500 | △ 1,105,333 |
| 看護会館再取得積立資産 | 381,895,327 | 356,559,168 | 25,336,159 |
| 減価償却引当資産 | 70,482,778 | 70,482,778 | 0 |
| 看護会館修繕積立資産 | 21,500,000 | 21,500,000 | 0 |
| 会館維持管理引当資産 | 10,020,000 | 10,020,000 | 0 |
| 看護会館建設資金引当資産 | 34,075,211 | 34,075,211 | 0 |
| 訪問看護事業運営積立資産 | 219,793,207 | 219,806,562 | △ 13,355 |
| 什器備品 | 1 | 35,354 | △ 35,353 |
| 特定資産合計 | 843,475,991 | 810,446,973 | 33,029,018 |
| (3) その他の固定資産 | | | |
| 看護師等修学貸与資産 | 14,910,000 | 14,910,000 | 0 |
| 准看護師進学修学貸与資産 | 7,825,000 | 7,825,000 | 0 |
| リース資産 | 76,673,137 | 73,830,424 | 2,842,713 |
| 什器備品 | 1,386,629 | 1,818,176 | △ 431,547 |
| 建物付属設備 | 1,299,521 | 1,576,958 | △ 277,437 |
| 構築物 | 1,624,334 | 1,670,334 | △ 46,000 |
| ソフトウェア | 186,592 | 252,448 | △ 65,856 |
| 電話加入権 | 1,001,114 | 1,001,114 | 0 |
| 敷金 | 1,296,315 | 1,296,315 | 0 |
| 保証金 | 240,000 | 240,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 106,442,642 | 104,420,769 | 2,021,873 |
| 固定資産合計 | 1,728,138,628 | 1,701,633,031 | 26,505,597 |
| 資産の部合計 | 2,069,014,788 | 2,060,791,772 | 8,223,016 |

| 科　　目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅱ　負債の部 | | | |
| 1．流動負債 | | | |
| 未払金 | 20,695,918 | 32,220,616 | △ 11,524,698 |
| 前受金 | 99,771,950 | 97,986,000 | 1,785,950 |
| 預り金 | 1,156,066 | 10,469,519 | △ 9,313,453 |
| 賞与引当金 | 16,858,894 | 17,022,209 | △ 163,315 |
| 役員賞与引当金 | 1,776,666 | 1,708,333 | 68,333 |
| 流動負債合計 | 140,259,494 | 159,406,677 | △ 19,147,183 |
| 2．固定負債 | | | |
| リース債務 | 76,673,137 | 73,830,424 | 2,842,713 |
| 退職給付引当金 | 102,827,300 | 93,980,400 | 8,846,900 |
| 役員退職慰労引当金 | 2,882,167 | 3,987,500 | △ 1,105,333 |
| 固定負債合計 | 182,382,604 | 171,798,324 | 10,584,280 |
| 負債の部合計 | 322,642,098 | 331,205,001 | △ 8,562,903 |
| Ⅲ　正味財産の部 | | | |
| 1．指定正味財産 | | | |
| 地方公共団体補助金 | 100,000,000 | 100,017,626 | △ 17,626 |
| 寄付金 | 671,668,225 | 680,211,592 | △ 8,543,367 |
| 指定正味財産合計 | 771,668,225 | 780,229,218 | △ 8,560,993 |
| （うち基本財産への充当額） | (635,801,786) | (644,345,153) | (△8,543,367) |
| （うち特定資産への充当額） | (135,866,439) | (135,884,065) | (△17,626) |
| 2．一般正味財産 | 974,704,465 | 949,357,553 | 25,346,912 |
| （うち基本財産への充当額） | (142,418,209) | (142,420,136) | (△1,927) |
| （うち特定資産への充当額） | (601,900,085) | (576,595,008) | (25,305,077) |
| 正味財産の部合計 | 1,746,372,690 | 1,729,586,771 | 16,785,919 |
| 負債及び正味財産合計 | 2,069,014,788 | 2,060,791,772 | 8,223,016 |

## 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで　　(単位:円)

| 科　　目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | |
| 1．経常増減の部 | | | |
| (1)　経常収益 | | | |
| 1．基本財産運用益 | 399,923 | 398,885 | 1,038 |
| 基本財産受取利息 | 399,923 | 398,885 | 1,038 |
| 2．特定資産運用益 | 1,892,197 | 1,941,070 | △ 48,873 |
| 特定資産受取利息 | 1,892,197 | 1,941,070 | △ 48,873 |
| 3．受取会費 | 126,355,000 | 124,077,000 | 2,278,000 |
| 受取入会金 | 18,395,000 | 18,642,000 | △ 247,000 |
| 正会員受取会費 | 107,960,000 | 105,435,000 | 2,525,000 |
| 4．医療保険収益 | 132,629,047 | 136,550,446 | △ 3,921,399 |
| 基本療養費 | 61,434,493 | 63,437,166 | △ 2,002,673 |
| 管理療養費 | 60,562,640 | 62,261,100 | △ 1,698,460 |
| 情報提供療養費 | 2,352,150 | 2,371,500 | △ 19,350 |
| ターミナル療養費 | 1,050,000 | 975,000 | 75,000 |
| 交通費負担金 | 5,210,200 | 5,423,500 | △ 213,300 |
| 実費訪問料 | 1,781,084 | 1,854,100 | △ 73,016 |
| ＡＬＳ等患者利用料 | 238,480 | 228,080 | 10,400 |
| 5．介護保険収益 | 224,022,157 | 228,614,543 | △ 4,592,386 |
| 居宅訪問看護収益 | 209,246,682 | 210,125,939 | △ 879,257 |
| 介護予防訪問看護収益 | 14,653,370 | 18,485,633 | △ 3,832,263 |
| 介護実費訪問料収益 | 122,105 | 2,971 | 119,134 |
| 6．居宅介護支援収益 | 20,769,023 | 21,286,551 | △ 517,528 |
| 居宅サービス計画収益 | 20,761,560 | 21,286,551 | △ 524,991 |
| 介護予防支援収益 | 7,463 | 0 | 7,463 |
| 7．受講料収益 | 38,503,500 | 44,173,522 | △ 5,670,022 |
| 受取受講料 | 37,580,800 | 42,882,222 | △ 5,301,422 |
| 受取資料代 | 922,700 | 1,291,300 | △ 368,600 |
| 8．受取委託金等 | 147,150,529 | 131,748,011 | 15,402,518 |
| 静岡県等受取助成金 | 1,116,000 | 859,000 | 257,000 |
| 静岡県等受取委託金 | 126,563,000 | 111,656,000 | 14,907,000 |
| 日看協受取助成金等 | 9,075,320 | 10,134,690 | △ 1,059,370 |
| 日看協受取委託金等 | 3,724,594 | 3,622,402 | 102,192 |
| 訪問看護拡充事業費 | 91,000 | 0 | 91,000 |
| 医療連携業務委託収益 | 6,562,989 | 5,458,189 | 1,104,800 |
| 受取補助金振替額 | 17,626 | 17,730 | △ 104 |
| 9．受取寄付金 | 9,643,367 | 9,543,367 | 100,000 |
| 受取寄付金 | 1,100,000 | 1,000,000 | 100,000 |
| 受取寄付金振替額 | 8,543,367 | 8,543,367 | 0 |
| 10．雑収益 | 1,476,270 | 4,225,259 | △ 2,748,989 |
| 会館使用料 | 194,580 | 234,954 | △ 40,374 |
| 受取利息 | 2,209 | 3,776 | △ 1,567 |
| 受取図書販売手数料 | 9,504 | 13,608 | △ 4,104 |
| 雑収益 | 1,269,977 | 3,972,921 | △ 2,702,944 |
| 経常収益計 | 702,841,013 | 702,558,654 | 282,359 |

| 科　　目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| (2)　経常費用 | | | |
| 1．事業費 | 626,063,554 | 606,888,130 | 19,175,424 |
| 役員報酬 | 13,583,646 | 12,784,862 | 798,784 |
| 給料手当 | 201,218,881 | 204,792,152 | △ 3,573,271 |
| 臨時雇賃金 | 140,209,860 | 128,219,182 | 11,990,678 |
| 退職給付費用 | 13,075,810 | 12,384,490 | 691,320 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 812,733 | 955,000 | △ 142,267 |
| 福利厚生費 | 55,572,217 | 55,294,039 | 278,178 |
| 賞与引当金繰入額 | 16,079,853 | 16,434,610 | △ 354,757 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 1,113,832 | 1,059,166 | 54,666 |
| 会議費 | 1,197,345 | 1,816,319 | △ 618,974 |
| 旅費交通費 | 15,499,999 | 17,054,522 | △ 1,554,523 |
| 通信運搬費 | 12,399,601 | 11,536,350 | 863,251 |
| 減価償却費 | 30,015,770 | 26,866,457 | 3,149,313 |
| 消耗備品費 | 1,690,324 | 849,805 | 840,519 |
| 消耗品費 | 10,961,732 | 12,456,547 | △ 1,494,815 |
| 修繕費 | 850,231 | 441,953 | 408,278 |
| 印刷製本費 | 9,926,257 | 7,363,292 | 2,562,965 |
| 燃料費 | 2,413,695 | 2,854,499 | △ 440,804 |
| 光熱水料費 | 3,438,813 | 2,779,377 | 659,436 |
| 賃借料 | 19,899,653 | 17,622,963 | 2,276,690 |
| 保険料 | 1,678,183 | 2,934,751 | △ 1,256,568 |
| 諸謝金 | 27,859,406 | 23,876,534 | 3,982,872 |
| 租税公課 | 10,270,589 | 9,558,120 | 712,469 |
| 支払負担金 | 18,258,833 | 19,390,582 | △ 1,131,749 |
| 支払助成金 | 2,818,492 | 1,961,355 | 857,137 |
| 委託費 | 14,988,420 | 15,432,393 | △ 443,973 |
| 雑費 | 229,379 | 168,810 | 60,569 |
| 2．管理費 | 51,430,546 | 51,400,729 | 29,817 |
| 役員報酬 | 10,103,711 | 9,741,165 | 362,546 |
| 給料手当 | 9,064,059 | 10,030,645 | △ 966,586 |
| 臨時雇賃金 | 270,424 | 0 | 270,424 |
| 退職給付費用 | 374,290 | 521,210 | △ 146,920 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 481,934 | 520,000 | △ 38,066 |
| 福利厚生費 | 3,146,358 | 3,330,165 | △ 183,807 |
| 賞与引当金繰入額 | 779,041 | 587,599 | 191,442 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 662,834 | 649,167 | 13,667 |
| 会議費 | 507,615 | 564,020 | △ 56,405 |
| 旅費交通費 | 2,268,720 | 2,394,120 | △ 125,400 |
| 通信運搬費 | 1,456,479 | 1,609,873 | △ 153,394 |
| 減価償却費 | 2,469,097 | 2,473,415 | △ 4,318 |
| 消耗備品費 | 296,562 | 137,916 | 158,646 |
| 消耗品費 | 882,090 | 1,104,129 | △ 222,039 |
| 修繕費 | 596,533 | 447,366 | 149,167 |
| 印刷製本費 | 714,924 | 1,325,446 | △ 610,522 |
| 光熱水料費 | 533,830 | 1,086,566 | △ 552,736 |
| 賃借料 | 1,003,281 | 1,142,271 | △ 138,990 |
| 保険料 | 627,375 | 636,223 | △ 8,848 |
| 諸謝金 | 2,217,077 | 2,220,465 | △ 3,388 |
| 租税公課 | 5,960,411 | 5,107,930 | 852,481 |
| 支払負担金 | 5,164,271 | 3,920,955 | 1,243,316 |
| 委託費 | 1,819,630 | 1,790,083 | 29,547 |
| 雑費 | 30,000 | 60,000 | △ 30,000 |
| 経常費用計 | 677,494,100 | 658,288,859 | 19,205,241 |
| 当期経常増減額 | 25,346,913 | 44,269,795 | △ 18,922,882 |

| 科　　目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 2．経常外増減の部 | | | |
| (1)　経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2)　経常外費用 | | | |
| 固定資産売却損 | | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 0 | 1 |
| 経常外費用計 | 1 | 0 | 1 |
| 当期経常外増減額 | △ 1 | 0 | △ 1 |
| 他会計振替額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 25,346,912 | 44,269,795 | △ 18,922,883 |
| 一般正味財産期首残高 | 949,357,553 | 905,087,758 | 44,269,795 |
| 一般正味財産期末残高 | 974,704,465 | 949,357,553 | 25,346,912 |
| Ⅱ　指定正味財産増減の部 | | | |
| 特定資産受取利息 | 193,600 | 193,600 | 0 |
| 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | 8,754,593 | 8,754,697 | △ 104 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 8,560,993 | △ 8,561,097 | 104 |
| 指定正味財産期首残高 | 780,229,218 | 788,790,315 | △ 8,561,097 |
| 指定正味財産期末残高 | 771,668,225 | 780,229,218 | △ 8,560,993 |
| Ⅲ　正味財産期末残高 | 1,746,372,690 | 1,729,586,771 | 16,785,919 |

# 財　産　目　録

令和2年3月31日現在

（単位：円）

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---|---|---|---|---|
| （流動資産） | | | | |
| | 現金 | 現金手許有高 | 運転資金として （事務局、ステーション） | 74,950 |
| | 普通預金 | スルガ銀行静岡支店 | 運転資金として （事務局、ステーション） | 63,920,038 |
| | | スルガ銀行清水高橋支店 | 運転資金として （地区支部） | 71,672 |
| | | スルガ銀行熱海駅支店 | 運転資金として （地区支部） | 55,433 |
| | | スルガ銀行長泉支店 | 運転資金として （地区支部） | 84,993 |
| | | 静岡銀行本店営業部 | 運転資金として （事務局） | 135,800 |
| | | 静岡銀行駅南支店 | 運転資金として （事務局、ステーション、地区支部） | 161,436,075 |
| | | 静岡銀行清水中央支店 | 運転資金として （ステーション） | 297,677 |
| | | 静岡銀行大東支店 | 運転資金として （ステーション） | 468,118 |
| | | 静岡銀行掛川東支店 | 運転資金として （ステーション） | 376,802 |
| | | 静岡銀行見付支店 | 運転資金として （ステーション） | 701 |
| | | 静岡銀行島田支店 | 運転資金として （地区支部） | 77,467 |
| | | 静岡銀行御前崎中央支店 | 運転資金として （地区支部） | 92,761 |
| | | 三島信用金庫東伊豆支店 | 運転資金として （地区支部） | 49,133 |
| | | 清水銀行富士川支店 | 運転資金として （地区支部） | 39,574 |
| | 郵便振替口座 | ゆうちょ銀行名古屋貯金事務センター | 運転資金として （事務局） | 1,860 |
| | 定期預金 | 静岡銀行駅南支店 | 運転資金として （ステーション） | 20,000,000 |
| | 未収金 | | 医療保険収入、介護保険収入、委託金他 | 89,469,148 |
| | 前払金 | | 4月分家賃、保険料、年間図書購読料他 | 3,783,958 |
| | 立替金 | | 日看協会議出張旅費 | 440,000 |
| | | | 流動資産合計 | 340,876,160 |
| （固定資産） | | | | |
| 基本財産 | | | | |
| | 土地 | 駿河区南町14番25号<br>共有持分3579.91㎡の内100万分の57,214 | 共用財産であるため、使用面積の割合により下記のとおり按分している<br>82％（期末帳簿価格246,000,000円）は公益目的保有財産として使用している<br>18％（期末帳簿価格54,000,000円）は法人管理活動の用に供する財産として使用している | 300,000,000 |
| | 建物 | 3階部分専有面積1436.72㎡ | 共用財産であるため、使用面積の割合により、下記のとおり按分している。<br>82％（期末帳簿価格275,357,465円）は公益目的保有財産として使用している<br>18％（期末帳簿価格60,444,321円）は法人管理活動の用に供する財産として使用している | 335,801,786 |
| | 投資有価証券 | 利付国債・県公債等　日興証券他 | 運用益を管理業務の財源として使用している | 117,418,209 |
| | 定期預金 | 静岡銀行駅南支店 | 運用益を管理業務の財源として使用している | 25,000,000 |
| 特定資産 | 退職給付引当資産 | 定期預金・普通預金　静岡銀行 | 職員に対する退職金の支払いに備えたもの | 102,827,300 |
| | 役員退職慰労引当資産 | 普通預金　静岡銀行 | 役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの | 2,882,167 |
| | 看護会館再取得積立資産 | 県公債・定期預金・普通預金　スルガ銀行他 | 資産取得資金であり看護会館再取得のために備えたもの | 381,895,327 |
| | 減価償却引当資産 | 定期預金　静岡銀行 | 看護会館再取得のために備えたもの | 70,482,778 |
| | 会館維持管理引当資産 | 県公債・普通預金　スルガ銀行 | 看護会館再取得のために備えたもの | 10,020,000 |
| | 看護会館建設資金引当資産 | 市債 ・定期預金　静岡銀行 | 看護会館再取得のために備えたもの | 34,075,211 |
| | 看護会館修繕積立資産 | 定期預金　静岡銀行 | 看護会館の修繕・改修等に備えたもの | 21,500,000 |
| | 訪問看護事業運営積立資産 | 利付国債・県公債・定期預金　静岡銀行他 | 訪問看護事業の運営に備えたもの | 219,793,207 |
| | 什器備品 | 衛星携帯電話080-2646-7621 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している | 1 |
| その他固定資産 | | | | |
| | 看護師等修学貸与資産 | 普通預金　静岡銀行、スルガ銀行<br>事業貸付金 | 公益目的保有財産であり、看護職の就業促進の用に供している（預金12,405,000円、貸付金2,505,000円） | 14,910,000 |
| | 准看護師進学修学貸与資産 | 普通預金　静岡銀行、スルガ銀行<br>事業貸付金 | 共益事業－准看護師に対する進学支援事業の用に供している（預金6,052,200円、貸付金1,772,800円） | 7,825,000 |
| | リース資産 | 事務機器他 | 管理運営の用に供している | 1,342,008 |
| | | 研修システム、公用車他 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している | 75,331,129 |
| | 什器備品 | 応接セット、書庫他 | 管理運営の用に供している | 472,137 |
| | | 研修室備品、訪問看護ST事務機器他 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している | 914,492 |
| | 建物附属設備 | 訪問看護ST掛川の空調設備他一式他 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している | 1,299,521 |
| | 構築物 | 訪問看護ST大東のカーポート | 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している | 1,624,334 |
| | ソフトウエア | 経理ソフト、給与ソフト | 管理運営の用に供している | 186,592 |
| | 電話加入権 | 静岡局202-1750他10本 | 管理運営の用に供している | 1,001,114 |
| | 敷金 | 訪問看護ST清水、西部・志太榛原地区支部 | 管理運営の用に供している | 1,296,315 |
| | 保証金 | 東部地区支部 | 管理運営の用に供している | 240,000 |
| | | | 固定資産合計 | 1,728,138,628 |
| | | | 資産合計 | 2,069,014,788 |
| （流動負債） | | | | |
| | 未払金 | | 旅費謝金、給料他 | 20,695,918 |
| | 前受金 | 令和2年度会費・入会金 | 公益目的事業及び管理運営の支出に供する会費等の前受け | 99,771,950 |
| | 預り金 | 令和2年度分社会保険料、雇用保険料　他 | | 1,156,066 |
| | 賞与引当金 | 令和元年度負担額 | | 16,858,894 |
| | 役員賞与引当金 | 〃 | | 1,776,666 |
| | | | 流動負債合計 | 140,259,494 |
| （固定負債） | | | | |
| | リース債務 | 日立キャピタルNBL、静銀リース他 | （法人1,342,008円、公益75,331,129円） | 76,673,137 |
| | 退職給付引当金 | 期末退職給付要支給額 | 職員に対する退職金の支払いに備えたもの | 102,827,300 |
| | 役員退職慰労引当金 | 〃 | 役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの | 2,882,167 |
| | | | 固定負債合計 | 182,382,604 |
| | | | 負債合計 | 322,642,098 |
| | | | 正味財産 | 1,746,372,690 |

# 令和2年度　重点事項及び事業計画

本会は、公益社団法人静岡県看護協会の使命を、人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献するため、

- 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 看護職が生涯をとおし安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 人々のニーズに応えるために、地域の保健・医療・福祉活動を推進し、看護領域の開発及び展開を図ると定めている。

本会使命を達成するために、令和2年度は以下の重点事項に基づく事業を積極的に展開する。

## 1　地域包括ケアを支える看護機能連携体制の強化

(1)円滑に地域とつなぐ連携体制の推進と充実
- ・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業の県下への充実と評価
- ・地域包括ケアフォーラム開催

(2)三職能連携事業
- ・三職能交流会の開催

(3)病院看護職員と訪問看護ステーション職員の相互出向事業
- ・病院看護職員の訪問看護ステーション出向研修
- ・訪問看護ステーション職員の病院出向研修の検討

(4)看護協会と訪問看護ステーション協議会の連携強化
- ・訪問看護総合支援センター(仮)設置に向けての検討

## 2　少子・超高齢・多死社会に対応できる看護職の育成

(1)看護管理者の看護政策力の強化
- ・看護管理者に向けて看護政策に係る情報提供
- ・認定看護管理者会との連携

(2)社会のニーズに対応した看護実践力の強化
- ・質の高い看護実践を推進する看護管理者研修の充実
- ・ラダーと連動した継続教育の充実
- ・認知症に対応できる看護職の育成
- ・医療的ケア児の支援に関わる看護職の育成
- ・災害に対応できる看護職の育成

(3)施設・在宅看護領域を担う看護職の育成
- ・訪問看護師の育成
- ・施設・在宅看護領域を担う看護管理者の育成

(4)看護師のクリニカルラダー活用推進

(5)特定行為研修修了者の増加に向けた広報普及活動

## 3　看護基礎教育制度改革の推進

(1)看護基礎教育4年制化の実現に向けての情報共有

(2)准看護師の進学と資質向上への支援

(3)看護職のあり方に関する基本的な考え方の普及

## 4　健康で働き続けられる職場環境改善の推進

（1）ナースセンター事業の促進

・地域と連携した看護職確保事業（就業相談会開催）

・再就業・セカンドキャリアのための研修会開催

・求人施設訪問（情報収集と求職者ニーズ等情報提供）

・離職防止事業（悩み相談、新人リフレッシュ研修）

・施設・看護学校訪問によるナースセンター事業の周知活動

（2）勤務環境改善推進事業の展開

・ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場作り)への広報普及活動

## 5　地域における看護職の活動推進

（1）静岡県市町行政・他団体と連携した災害発生時の体制整備

・非会員への災害看護地区研修参加への広報

・災害看護フォーラムの開催

・災害支援ナース必携マニュアルの改訂

（2）地域で活動する看護職の力を生かした地区支部と訪問看護ステーション協議会との連携・共働の仕組みつくり

事業計画を、定款第4条の事業に添って掲載

＊下線は新規・変更事業

○事業項目1　教育等看護の質の向上に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)人材育成を促進するための継続教育 | ①看護実践能力の育成<br>（研修名）<br>・【JNAオンデマンド活用研修】医療人・組織人として必要な基本姿勢と役割<br>・理解を深めよう!がん看護　基礎編<br>・おさえておきたい糖尿病看護の基礎<br>・生活を支える摂食嚥下リハビリテーション看護－看護職の果たす役割－<br>・みんなで考え、広めよう看護倫理（2日間）<br>・その人らしい人生の最終段階の実現に向けた高齢者の看取り<br>・中範囲理論を活用した根拠ある看護実践（2日間）<br>・【JNAオンデマンド活用研修】意思決定プロセスの理解と意思決定における権利擁護<br>・臨床判断をOJTで活かして組織の看護力を高めよう<br>・医療や看護を受ける人の意向を尊重した意思決定支援－あなたは支援者になっていますか－<br>・訪問看護師養成講習会「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム<br>②組織的役割遂行能力の育成<br>（研修名）<br>・OJTトレーナー研修Ⅰ－教える人としての私を育てる－（2日間）<br>・OJTトレーナー研修Ⅱ－後輩育成に活かすコーチングスキル－<br>・【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識（2日間）<br>・【JNAオンデマンド活用研修】組織内教育体制整備とJNAラダー活用のための研修プログラム<br>・「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」評価者育成研修<br>・最新の感染予防－高齢者施設・在宅における感染予防対策の実際－<br>・最新の感染予防－感染予防リンクナースの役割－<br>・JNAクリニカルラダーシンポジウム<br>・組織づくりに活かす看護倫理<br>・小児の在宅療養を支援する看護職の役割<br>・eラーニングで学ぶ　医療関連感染予防対策<br>・eラーニングで学ぶ　医療安全ステップアップ研修1<br>・eラーニングで学ぶ　医療安全ステップアップ研修2－RRSを学ぶ－<br>・eラーニングで学ぶ　医療安全管理者養成研修（集合研修2日間あり）<br>・eラーニングで学ぶ　災害時の医療安全と感染対策<br>・訪問看護師養成講習会「訪問看護eラーニングを活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム<br>・第1回労働環境に関する研修会「大人の発達障害を理解する」<br>・第2回労働環境に関する研修会「ハラスメント対応について学ぶ」<br>・【JNA収録DVD研修】看護補助者の活用推進のための看護管理者研修<br>③自己教育の推進<br>（研修名）<br>・論文の組み立て方、書き方<br>④特別研修<br>（研修名）<br>・コンフリクトマネジメントと交渉術の基本を学ぶ<br>・【JNAオンデマンド活用研修】ヘルシーワークプレイスを目指して－みんなで取り組むステップ1～5－<br>・災害看護フォーラム<br>⑤災害看護研修<br>・【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩 |
| (2)資格認定教育 | ①認定看護管理者教育<br>（研修名）<br>・認定看護管理者教育課程　ファーストレベル（23日間）2回開催<br>・認定看護管理者教育課程　セカンドレベル（33日間）<br>・認定看護管理者教育課程　セカンドレベルフォローアップ実践報告 |

| | |
|---|---|
| (3) 静岡県からの受託研修 | ①新人看護職員研修<br>（研修名）<br>・新人看護職員研修－多施設合同研修－(6日間)<br>・新人看護職員指導者研修　研修責任者研修(5日間)<br>・新人看護職員指導者研修　教育担当者研修(5日間)<br>・新人看護職員指導者研修　実地指導者研修(5日間)<br>②重症心身障害児（者）対応看護従事者養成研修（2日間）<br>③看護職員実習指導者等講習会（40日間）<br>④看護職員実習指導者等講習会－特定分野－(7日間)<br>⑤看護教員継続研修<br>・ベテラン期（3日間）<br>・トピックス研修（1日間）<br>⑥高齢者権利擁護等推進「看護実務者研修」(2日間)<br>⑦看護の質向上促進研修<br>⑧看護職員管理者の相互研修「暮らしをつなげる看護職員のための研修」（4日間）<br>⑨静岡県看護職員認知症対応力向上研修「認知症ケア体制構築推進者研修」(3日間)<br>⑩病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 |
| (4)看護研究 | ①学会等<br>・静岡県看護学会<br>・地区支部による「看護実践報告会」等 |
| (5) 学術研究復興支援 | ①研究能力の育成<br>（研修名）<br>・看護研究の第一歩－研究テーマの絞込み－<br>・看護研究の基礎－研究計画書にトライ－(3日間)<br>・効果的なプレゼンテーション技法<br>②看護研究倫理審査 |

○事業項目2　看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)保健師･助産師･看護師業務に係る事業 | ①保健師職能委員会　年11回<br>・3職能合同交流会　・保健師職能集会　・保健師研修会<br>・保健師活動指針の普及啓発<br>②助産師職能委員会　年12回<br>・3職能合同交流会　・助産師職能集会　・新人助産師研修会<br>・助産実践能力強化研修－周産期領域の倫理的課題－<br>・助産師の役割や業務に関する周知･啓蒙<br>③看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）　年12回<br>・3職能合同交流会<br>・准看護師研修会･進学説明会　・中間管理者交流会（3会場）<br>④看護師職能委員会Ⅱ（介護･福祉関係施設･在宅等領域）　年12回<br>・3職能合同交流会<br>・地区別看護職員研修交流会（3会場） |
| (2)医療安全の推進 | ①医療安全情報の発信<br>②医療･看護安全相談 |
| (3)看護制度に関する事業 | ①准看護師の進学と資質向上への支援<br>・看護師2年課程（通信制）に関する情報提供<br>・修学金制度の周知<br>②看護関連政策の充実<br>・静岡県への要望　・静岡県議会への要望　・静岡県看護連盟との連携<br>③特定行為研修受講者の増加に向けた広報普及活動 |

○事業項目3　看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)働き続けられる職場環境づくりの推進 | ①看護職の労働条件・労働環境改善<br>・第1回労働環境に関する研修会「大人の発達障害を理解する」(再掲)<br>・第2回労働環境に関する研修会「ハラスメント対応について学ぶ」(再掲)<br>・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターとの連携推進 |
| (2)看護職の確保・定着及び就業支援の推進 | ①ナースバンク事業<br>・看護職離職時等届出制度の推進、eナースセンター登録と活用による就業促進<br>・求人施設との連携強化(求人施設訪問)<br>・ハローワークにおける移動相談(15カ所)・施設参加によるミニ相談会(14カ所)<br>②潜在看護職員等再就業支援事業の強化<br>・再就業支援コーディネーターによる再就業支援<br>・再就業準備講習会<br>病院再就業研修(東・西部各1回、計2回)<br>介護施設等再就業研修(東・西部各1回、計2回)<br>病院・介護施設等再就業研修(中部4回)<br>施設見学研修(中部2回)<br>・体験型再就業チャレンジ研修(病院・訪問看護ステーション)<br>・求人・求職マッチング強化(求職者の施設見学時に就業相談員が同行)<br>・地域でつくる協働開催型就業相談会(ナースのお仕事フェア):10地域<br>※10地域の内3地域について「地域との連携強化地域」として取り組む<br>・子育て支援センター等との連携による潜在看護職の掘り起こし(カフェ4か所)<br>・県外看護職・看護学生などの静岡県への移住・地元就職の促進(県内外の看護大学・専門学校訪問と移住フェア、同窓会等への参加)<br>・基礎看護技術演習(本所、東部・西部支所の3会場で実施)<br>③看護職への進路選択の推進<br>・看護学校等進路説明・相談会　・高校生1日ナース体験<br>・看護職こころざし育成セミナー　・高校生向け広報誌の発行<br>④看護の心普及・啓発等<br>・看護の日・週間記念事業<br>・看護の出前授業<br>⑤離職防止対策の推進<br>・相談機能の充実　(悩み事相談:看護学生の就学継続・看護職の就業継続支援)<br>(新人看護職員向け専用電話相談窓口の設置:月~金)<br>・施設訪問(看護管理者への説明会:ナースセンター広報とキャリアサポート等)<br>・新人看護職員の施設内教育指導者との連携及び相談<br>・新人看護職員:離職防止に関する研修<br>・再就業者フォローアップ研修(年間2回)<br>・セカンドキャリアセミナー(東・中・西部各1回、計3回)<br>⑥調査・情報提供<br>・退職者(個人)調査<br>・退職(施設)調査<br>⑦ナースセンター事業の広報<br>・ナースセンター専用サイトとメールマガジンの活用<br>・ナースセンターだよりプラス発行(年3回)<br>⑧職員の資質向上に関すること<br>・職員研修(年2回)<br>・訪問看護体験研修(対象:訪問看護体験のない就業相談員) |

○事業項目4　在宅ケアの推進及び支援に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の運営及び地域支援 | ①協会立訪問看護ステーション・指定居宅介護支援事業所の運営<br>②地域支援<br>・訪問看護ステーション清水・指定居宅介護支援事業所訪問看護S／T清水<br>第6回介護者の会「さくらばしサロン」、第12回訪問看護ステーション清水地域交流会、第8回地域住民交流会　健康教室<br>・訪問看護ステーション大東・指定居宅介護支援事業所訪問看護S／T大東<br>第6回家族交流会、JA健康フェア、南部大東ふくしあ健康相談、南部大須賀ふくしあ健康相談、老人会健康講話、在宅研修会「在宅における栄養管理（仮）」<br>・訪問看護ステーション掛川・指定居宅介護支援事業所訪問看護S／T掛川<br>第7回スイートピーの会（家族交流会）、かけがわ健康フェア、ふれあい広場、東部ふくしあ出張健康相談、西部ふくしあ健康相談、他職種連携に関する研修会掛川市地域防災訓練救護所訓練参加<br>・訪問看護ステーションいわた・指定居宅介護支援事業所訪問看護S／Tいわた<br>いわたふれあい広場、ふくでふれあいまつり、南交流センターまつり、第4回いわたナース交流会 |
| (2)市、地域包括支援センター等との連携協働 | ①行政、看護・介護、福祉等多職種と連携した総合的支援による訪問看護サービスの提供促進<br>②地域包括支援センターと訪問看護ステーションとの合同会議、研修会、医療・介護関係者の事例検討会の開催<br>③地域防災訓練等への参加 |
| (3)訪問看護サービスの質向上及び人材育成 | ①訪問看護師養成講習会<br>「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム（再掲）<br>②看護職員管理者の相互研修「暮らしをつなげる看護職員のための研修」（再掲）<br>③訪問看護における「特定行為に係る看護師の研修制度」活用促進<br>④訪問看護出向研修支援事業<br>⑤訪問看護ステーション職員の病院出向研修に関する検討 |
| (4)訪問看護関係団体との連携 | ①静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議の開催及び連携強化<br>②訪問看護総合支援センター（仮称）設置に向けた検討会議の開催<br>③日本訪問看護財団との連携 |

○事業項目5　地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)地域看護活動の推進 | ①8地区支部の活動<br>・まちの保健室:I型、II型（イベント併設型）<br>・看護教室・健康教室の開催　　・市民講演会の開催<br>・いのちを大切にする授業、出前授業（ナースセンターとの共催）<br>・看護の日・週間記念行事の開催<br>・地域防災訓練への参加　　・地域行政・地域住民との連携事業<br>・地区支部と訪問看護ステーション協議会と「まちの保健室」共働開催<br>②病院・施設との看看連携・協働等<br>・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業の充実と評価<br>・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進事業　成果発表フォーラム開催<br>③災害時看護職ボランティアの育成 |
| (2)他機関、団体との連携活動 | ①元気応援フェアへの参加<br>②メディメッセージへの参加<br>③あざれあメッセへの参加 |
| (3)ストレス緩和への支援 | ①「ケアする人のケア」<br>各訪問看護ステーションにおける在宅でケアする人、看護・介護職員へのストレス緩和支援<br>・訪問看護ステーション清水　第6回介護者の会「さくらばしサロン」（再掲）<br>・訪問看護ステーション大東　第6回家族交流会（再掲）<br>・訪問看護ステーション掛川　第7回スイートピーの会（家族交流会）（再掲）<br>・訪問看護ステーションいわた　第7回いわたキッズと親の交流会 |

○事業項目6　防災及び災害支援に関する事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)防災対策に関する事業 | ①防災計画に沿った活動<br>・防災会議開催　　・災害支援ナース必携マニュアルの改訂<br>・衛星携帯電話の保守・活用　　・備蓄品の確保<br>②静岡県総合防災訓練への参画<br>③地区支部における市町の防災会議への参画<br>④災害看護フォーラムの開催（再掲） |
| (2)災害時の看護支援活動の整備 | ①災害支援ナース育成のための研修実施<br>・災害看護地区研修の実施<br>・災害支援ナース育成研修の実施<br>前半【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩<br>～災害看護の基本的知識～（2日間）<br>後半【講義・演習】災害支援ナースの実際（2日間）<br>・災害支援ナースの登録・管理<br>・災害支援ナース登録者研修の実施　「災害看護フォーラム」への参加<br>②日本看護協会「災害時支援ネットワークシステム」による災害支援ナースの派遣合同調整訓練への参加<br>③災害支援ナース派遣に関するサポート体制の整備等<br>④災害看護一般研修Ⅰ、Ⅱの実施<br>⑤行政・他団体と連携した医療救護活動体制の構築<br>⑥災害支援ナース備品の整備<br>⑦災害時看護職ボランティアの育成（再掲） |
| (3)日本災害看護学会 | 日本災害看護学会組織会員として協力 |

○事業項目7　　その他・本会の目的を達成するために必要な事業

・公益目的事業

| 事　業　細　目 | 内　　容 |
|---|---|
| (1)広報 | ①広報委員会活動<br>・「看護しずおか」年6回発行　　・モニター会議の開催<br>・看護関連情報及び看護協会事業活動の更新<br>②県民及び他機関・他団体への広報強化<br>・マスコミを通じた広報活動　　・看護協会パンフレットの作成・普及<br>③看護の心普及・啓発等（再掲）<br>・看護の日・週間記念行事（再掲）　・看護の出前授業（再掲） |
| (2)施設の貸与 | 看護に関する研修会等を行う関係団体への研修室・会議室の貸出 |

・収益事業等会計

| | |
|---|---|
| (1)会員・役員支援 | ①会員の福利厚生<br>・各種表彰・受章候補者の推薦　　・慶弔見舞　　・災害見舞<br>②役員・委員の損害保険対応　・日本看護協会「看護職賠償責任保険制度」の紹介 |
| (2)看護研究費助成 | ①看護研究費助成事業<br>②看護職員海外研究視察奨励助成事業 |

・法人会計

| | |
|---|---|
| (1)協会組織の強化 | ①公益社団法人としての組織整備<br>・諸規定の整備　・地区支部活動の推進<br>②会員数の増加促進<br>・協会のしおり等の送付　・看護学校行事等への出席<br>・退職会員への加入継続の奨励<br>③新入会員研修会<br>④地区支部との支援と連携強化<br>⑤活動拠点の整備・充実 |
| (2)円滑な組織運営 | ①運営に関する会議<br>・定時総会　年1回　・理事会　年5回　・常任理事会　年12回<br>・推薦委員会　年10回　・特別委員会　年6回～12回程度<br>・医療・福祉施設等看護代表者会議　年2回<br>・委員長・地区支部長合同会議　年2回<br>・総会運営会議　年1回　・選挙管理委員会　年2回<br>・地区支部長連絡会議　年2回　・地区支部会議　年1回<br>・看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議　年2回<br>②役員・委員の資質向上　・役員委員研修会　年1回<br>③日本看護協会との連携<br>・通常総会（令和2年6月11日（木）～12日（金））<br>・理事会　年5回以上　・代議員研修会<br>・地区別法人会員会　・全国職能委員長会　年1回<br>・地区別職能委員長会　・政策責任者会議<br>・看護労働担当者会議　・新会員情報管理体制担当者会議<br>・教育担当者会議　・災害看護担当者会議<br>・ナースセンター事業担当者会議　・広報担当役員会議<br>・訪問看護連絡協議会全国会議　・事務担当者会議 |
| (3)会員サービスの充実 | ①看護協会ホームページの活用推進<br>②図書室の管理・運営<br>③ナースシップ利用への支援<br>・新規・継続申し込みの受付<br>・会員入会手続きに関する案内と対応 |
| (4)渉外活動 | ①関連機関・関係団体との連携<br>・会議への参加　・後援、推薦、協賛依頼への協力 |
| (5)施設管理・運営 | ①看護協会会館の維持管理　②施設設備の整備・保守・管理<br>③備品の管理　④図書室の充実 |

# 令和2年度収支予算

＜令和2年度当初収支算書概要＞

## 1　予算区分

本会の予算は、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3区分で構成しており、その概要は次のとおりである。

**（1）公益目的事業会計**

定款第4条に規定された公益事業を実施するための予算で、7つの事業とそれらに共通する「公益共通」事業の8つに区分されている。

**（2）収益事業等会計**

看護研究費助成金や会長表彰、慶弔費等会員に対する支援事業を実施するための予算である。

**（3）法人会計**

建物の管理費、総会や理事会を開催する経費等法人を運営・管理するための予算である。

## 2　財務3基準の充足状況

本予算は、公益社団法人の要件として求められる次の財務3基準を満たしている。

（1）公益目的事業に係る収入が事業に要する費用を超えないこと(収支相償の原則)⇒3の表参照

（2）公益目的事業比率が事業費全体の50%以上であること（50%ルール）⇒3の表参照

（3）使途を定めない財産が公益目的事業費用の1年分を超えないこと(遊休財産保有制限)（※）

※遊休財産額=資産－負債－(控除対象財産－対応負債)

・平成30年度末実績　遊休財産:約4.8億円　＜　公益目的事業費用:約6.1億円

・令和2度末見込　遊休財産:約4.8億円程度以内　＜　公益目的事業費用:約7.0億円

## 3　令和2年度予算の構成

（単位:千円）

| 公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計（単位:千円） | | 収益 | | 費用 | | 収支差額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| 公益目的事業会計(定款第4条事業:1～7) | | 682,102 | 91.4% | 697,938 | **91.5%** | **△15,836** |
| 事業1 | 教育等看護の質の向上に関する事業 | 79,693 | 10.7% | 88,903 | 11.7% | △9,210 |
| 事業2 | 看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業 | 10 | 0.0% | 4,072 | 0.5% | △4,062 |
| 事業3 | 看護職の労働環境の改善及び就業促進に関する事業 | 83,139 | 11.1% | 83,863 | 11.0% | △724 |
| 事業4 | 在宅ケアの推進及び支援に関する事業 | 442,321 | 59.3% | 420,838 | 55.3% | 21,483 |
| 事業5 | 地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業 | 730 | 0.1% | 23,073 | 2.9% | △22,343 |
| 事業6 | 防災及び災害支援に関する事業 | 0 | 0% | 4,721 | 0.6% | △4,721 |
| 事業7 | その他本会の目的を達するために必要な事業 | 1,757 | 0.2% | 9,999 | 1.3% | △8,242 |
| 公益目的事業会計共通経費 | | 74,452 | 10.0% | 62,469 | 8.2% | 11,983 |
| 収益事業等会計 | | 1,030 | 0.1% | 1,030 | 0.1% | 0 |
| 法人会計 | | 63,596 | 8.5% | 63,596 | 8.4% | 0 |
| 合計 | | 746,728 | 100% | 762,564 | 100% | △15,836 |

## 4　経常収益

会員増に伴う会費収益及び受講料の改定による受取受講料の増加の一方、静岡県から受託予定の研修委託費や訪問看護ステーションの収益の減少により、収益総額は746,728千円と令和元年度当初予算の753,676千円に対し、6,948千円の減を見込んだ。

＜収益の内訳＞　（単位:千円）

| 区　分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 増　減 | 説　明 |
|---|---|---|---|---|
| **財産・資産の運用収益** | **1,991** | **1,426** | **565** | |
| 基本財産受取利息 | 339 | 339 | 0 | |
| 特定資産受取利息 | 1,652 | 1,087 | 565 | 看護会館再取得積立金等特定の使途に充てるため保有する資産 |
| **会費収益** | **125,700** | **123,200** | **2,500** | |
| 受取入会金 | 18,200 | 18,200 | 0 | 入会者数を過去3年の平均の1,400人と想定 |
| 受取会費 | 107,500 | 105,000 | 2,500 | 会員数を過去3年の平均伸び率を乗じ、21,500人と想定 |
| **訪問看護ステーション関係** | **427,495** | **439,755** | **△12,260** | |
| 医療保険収益 | 154,417 | 151,476 | 2,941 | 医療的ケアが必要な利用者の増加 |
| 介護保険収益 | 244,569 | 259,698 | △15,129 | 介護保険適用利用者の減少 |
| 居宅介護支援収益 | 28,509 | 28,581 | △72 | |
| **受取受講料等** | **43,076** | **39,583** | **3,493** | 受講料改定に伴う増 |
| **受取補助金等** | **138,178** | **139,466** | **△1,288** | 静岡県委託研修科目の変更による減 |
| **その他** | **10,288** | **10,246** | **42** | |
| **合　計** | **746,728** | **753,676** | **△6,948** | |

## 5　経常費用

公益目的事業等会計は、事業ごとの若干の増減はあるが事業費総額としては697,938千円と、令和元年度当初予算の696,705千円に対し1,233千円増を見込んだ。

また、収益事業等会計の事業費は、元年度と同額の1,030千円を計上した。

法人会計の管理費は、63,596千円と元年度当初予算の58,567千円に対し、5,029千円増を見込んだ。

この結果、法人全体の事業費は762,564千円となり、元年度当初予算の756,568千円に対し、5,996千円の増額計上となった。

<事業費の内訳>

（単位:千円）

| 事　業　区　分 | 2年度 | 元年度 | 増減 | 説　　明 |
|---|---|---|---|---|
| **公益目的事業会計** | **697,938** | **696,705** | **67** | |
| **定款第4条事業1** | **88,903** | **93,032** | **△4,129** | |
| 教育研修推進事業 | 29,194 | 23,447 | 5,747 | 人件費等教育研修部共通経費 |
| 静岡県委託事業（教育研修関係分） | 28,965 | 38,042 | △9,077 | <主な異同内容> 看護職員実習指導者等講習会(新)、専任教員養成講習会は2年度準備 |
| 認定看護管理者教育課程 | 15,990 | 17,440 | △1,450 | ファースト・セカンドレベル研修（サードレベルは2年度なし） |
| 教育研修事業 | 9,765 | 9,632 | 133 | 一般研修等開催経費 |
| JNAオンデマンド研修 | 233 | 0 | 233 | |
| 学術研究推進委員会事業 | 2,803 | 2,532 | 271 | 看護学会、研究能力の育成研修経費 |
| 地区支部事業 | 1,361 | 1,359 | 2 | 各地区支部実施研修会、実践報告会等経費 |
| 教育委員会 | 592 | 580 | 12 | |
| **定款第4条事業2** | **4,072** | **3,967** | **105** | |
| 保健師職能委員会 | 749 | 722 | 27 | |
| 助産師職能委員会 | 771 | 872 | △ 101 | |
| 看護師職能委員会Ⅰ | 1,444 | 1,251 | 193 | |
| 看護師職能委員会Ⅱ | 1,108 | 1,122 | △ 14 | |
| **定款第4条事業3** | **83,863** | **82,328** | **1,535** | |
| ナースセンター事業（静岡県委託事業） | 83,139 | 81,452 | 1,687 | |
| ワークライフバランス推進事業 | 0 | 162 | △ 162 | JNAオンデマンド研修として定款事業1に計上 |
| 働き続けられる職場環境づくり推進委員会 | 724 | 714 | 10 | |
| **定款第4条事業4** | **420,838** | **423,694** | **△ 2,856** | |
| 訪問看護ステーション事業 | 413,844 | 418,494 | △ 4,650 | |
| 訪問看護ステーション清水 | 76,312 | 78,777 | △ 2,465 | |
| 訪問看護ステーション大東 | 95,867 | 93,018 | 2,849 | |
| 訪問看護ステーション掛川 | 110,614 | 109,509 | 1,105 | |
| 訪問看護ステーションいわた | 131,051 | 137,190 | △ 6,139 | |
| 訪問看護師養成講習会等 | 994 | (748) | 994 | eラーニング（元年度は定款事業1に計上） |
| 看護職員出向事業 | 6,000 | 5,200 | 800 | 静岡県委託事業拡充による増 |
| **定款第4条事業5** | **23,073** | **22,314** | **759** | |
| 地区支部事務所運営費 | 9,847 | 10,030 | △ 183 | |
| 地区支部支援事業 | 579 | 1,151 | △ 572 | |
| 東部地区支部 | 2,932 | 2,980 | △ 48 | |
| 志太・榛原地区支部 | 2,296 | 2,319 | △ 23 | |
| 中東遠地区支部 | 1,780 | 964 | 816 | 事務職員の配置 |
| 西部地区支部 | 2,133 | 2,486 | △ 353 | |
| 静岡支部事務所 | 127 | 130 | △ 3 | |
| 地区支部活動費(他定款事業分除く) | 8,706 | 8,359 | 347 | |
| 賀茂地区支部 | 530 | 455 | 75 | 元年度成果報告・交流会等の2年度延期に伴う計上分(コロナ対策) |
| 熱海・伊東地区支部 | 616 | 513 | 103 | 〃 |
| 東部地区支部 | 1,293 | 1,189 | 104 | 〃 |
| 富士地区支部 | 1,205 | 1,191 | 14 | 〃 |
| 静岡支部事務所 | 1,116 | 1,177 | △ 61 | 〃 |
| 志太・榛原地区支部 | 1,794 | 1,590 | 204 | 〃 |
| 中東遠地区支部 | 927 | 975 | △ 48 | |
| 西部地区支部 | 1,225 | 1,269 | △ 44 | |
| 事業部事業（元気応援フェア等） | 4,520 | 3,925 | 595 | 元年度看看連携事業報告会の2年度延期に伴う計上分(コロナ対策) |
| **定款第4条事業6** | **4,721** | **3,911** | **810** | |
| 災害看護対策委員会 | 1,385 | 1,168 | 217 | 災害支援ナース必携マニュアル改訂 |
| 災害支援地区研修等 | 2,112 | 2,019 | 93 | |
| 防災会議等 | 1,224 | 724 | 500 | 災害看護フォーラム(新) |
| **定款第4条事業7** | **9,999** | **12,829** | **△ 2,830** | |
| 看護の日記念事業等 | 1,844 | 2,170 | △ 326 | |
| 広報委員会、看護しずおか発行等 | 8,155 | 10,659 | △ 2,504 | 県協会ホームページリニューアル元年度完了 |
| **共通（公益各事業共通経費）** | **62,469** | **54,630** | **7,839** | |
| **収益事業等会計** | **1,030** | **1,030** | **0** | |
| 看護研究費助成金事業 | 400 | 400 | 0 | |
| 会長表彰経費及び会員への慶弔費 | 630 | 630 | 0 | |
| **法人会計（法人運営・管理に要する経費）** | **63,596** | **58,567** | **5,029** | |
| **経　常　費　用　計** | **762,564** | **756,568** | **5,996** | |

# 令和2年度収支予算書

## 1　全体

単位:千円

| 科　　目 | 2年度 | 元年度 | 増減 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1経常増減の部 | | | | |
| (1)経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | | | | |
| 基本財産受取利息 | 339 | 339 | 0 | |
| 特定資産運用益 | | | | |
| 特定資産受取利息 | 1,652 | 1,087 | 565 | |
| 会費収益 | | | | |
| 受取入会金 | 18,200 | 18,200 | 0 | 1,400人を見込む |
| 正会員受取会費 | 107,500 | 105,000 | 2,500 | 21,500人を見込む |
| 事業収益 | | | | |
| 医療保険収益 | | | | |
| 基本療養費 | 72,743 | 71,847 | 896 | |
| 管理療養費 | 71,577 | 68,688 | 2,889 | 医療的ケアが必要な利用者増に伴う増 |
| 情報提供療養費 | 2,340 | 2,376 | △ 36 | |
| ターミナル療養費 | 650 | 1,050 | △ 400 | |
| 交通費負担金 | 6,326 | 6,162 | 164 | |
| 実費訪問料 | 622 | 1,194 | △ 572 | |
| ALS患者利用料 | 159 | 159 | 0 | |
| 介護保険収益 | | | | |
| 居宅訪問看護収益 | 229,758 | 238,707 | △ 8,949 | 介護的ケアが必要な利用者減に伴う減 |
| 介護予防訪問看護収益 | 14,811 | 20,991 | △ 6,180 | 〃 |
| 居宅介護支援収益 | | | | |
| 居宅サービス計画収益 | 28,509 | 28,581 | △ 72 | |
| 要介護認定調査収益 | | | | |
| 受取受講料 | 42,286 | 38,943 | 3,343 | 受講料改定に伴う増 |
| 受取資料代 | 790 | 640 | 150 | |
| 受取補助金等 | | | | |
| 静岡県等受取助成金 | 730 | 730 | 0 | |
| 静岡県等受取委託金 | 119,561 | 121,266 | △ 1,705 | 看護職員出向事業増加分に伴う増、専任教員養成講習会終了に伴う減 |
| 日看協受取助成金等 | 9,112 | 9,028 | 84 | |
| 日看協受取委託金等 | 3,195 | 3,030 | 165 | |
| 医療連携業務委託収益 | 5,580 | 5,412 | 168 | |
| 受取寄付金 | | | | |
| 受取寄付金 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 受取寄付金振替額 | 8,543 | 8,543 | 0 | |
| 雑収益 | | | | |
| 衛生材料等負担金収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 会館使用料 | 200 | 200 | 0 | |
| 受取利息 | 34 | 34 | 0 | |
| 雑収益 | 511 | 469 | 42 | |
| 経常収益計 | 746,728 | 753,676 | △ 6,948 | |
| (2)経常費用 | | | | |
| 事業費 | | | | |
| 役員報酬 | 15,281 | 10,388 | 4,893 | 常勤理事等報酬の公益事業分 |
| 給料手当 | 229,376 | 222,352 | 7,024 | 事業担当職員給料 |
| 賃金 | 143,565 | 151,414 | △ 7,849 | 同非常勤職員給料 |
| 退職給付費用 | 13,439 | 13,282 | 157 | 退職手当引当資産積立額 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 992 | 1,275 | △ 283 | 役員退職慰労引当資産積立額 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 1,356 | 1,060 | 296 | 役員6月賞与前年度4か月分を積立 |
| 賞与引当金繰入額 | 17,985 | 18,026 | △ 41 | 職員6月賞与4か月分を積立 |
| 福利厚生費 | 64,755 | 60,811 | 3,944 | 健康保険、年金等社会保険料 |
| 会議費 | 2,028 | 1,791 | 237 | 研修講師昼食代他 |
| 旅費交通費 | 22,712 | 22,711 | 1 | 研修講師旅費他 |
| 通信運搬費 | 14,304 | 14,572 | △ 268 | 電話料、宅急便等郵送運搬費 |
| 減価償却費 | 27,872 | 24,406 | 3,466 | 建物、什器備品等減価償却費公益事業分 |
| 消耗備品費 | 887 | 1,361 | △ 474 | 研修教育器材等 |
| 消耗品費 | 15,124 | 14,957 | 167 | 事務用消耗品等 |
| 修繕費 | 2,450 | 2,450 | 0 | 日常保守、照明LED化等 |
| 印刷製本費 | 10,518 | 11,634 | △ 1,116 | 看護しずおか他 |
| 燃料費 | 3,405 | 3,516 | △ 111 | 訪看ST公用車ガソリン代 |
| 光熱水料費 | 3,380 | 2,880 | 500 | 会館、地区事務所、訪看ST事務所 |
| 賃借料 | 29,832 | 31,474 | △ 1,642 | 訪看ST公用車、PC等賃借料 |
| 保険料 | 2,690 | 4,289 | △ 1,599 | 建物火災保険、役員賠償保険他 |
| 諸謝金 | 28,912 | 31,366 | △ 2,454 | 教育課程サードレベル終了に伴う減額 |
| 租税公課 | 11,352 | 11,352 | 0 | 固定資産税、消費税の公益事業分 |
| 支払負担金 | 17,694 | 19,123 | △ 1,429 | 管理組合負担金公益事業分他 |
| 支払助成金 | 4,500 | 4,200 | 300 | 看護研究助成金(共益事業) |
| 委託費 | 13,926 | 16,387 | △ 2,461 | PC保守、HP,清掃委託料公益事業分 |
| 雑費 | 633 | 658 | △ 25 | |
| 事業費計 | 698,968 | 697,735 | 1,233 | |

| 科　　目 | 2年度 | 元年度 | 増減 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 管理費 | | | | |
| 役員報酬 | 12,848 | 12,475 | 373 | 常勤役員報酬法人分、非常勤理事報酬 |
| 給料手当 | 10,012 | 9,450 | 562 | 総務部職員の法人会計分 |
| 賃金 | 1,294 | 225 | 1,069 | 総務部臨時職員の法人会計分 |
| 退職給付費用 | 607 | 551 | 56 | 退職手当引当資産積立額 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 618 | 530 | 88 | 役員退職慰労引当資産積立額 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 910 | 650 | 260 | 役員6月賞与前年度4か月分を積立 |
| 賞与引当金繰入額 | 917 | 891 | 26 | 職員6月賞与4か月分を積立 |
| 福利厚生費 | 3,312 | 3,200 | 112 | 健康保険、年金等社会保険料 |
| 会議費 | 888 | 645 | 243 | 総会、理事会等開催経費他 |
| 旅費交通費 | 4,402 | 3,996 | 406 | 総会、理事会等開催経費他 |
| 通信運搬費 | 2,570 | 2,446 | 124 | 総会、理事会等開催経費他 |
| 減価償却費 | 2,470 | 2,452 | 18 | 建物減価償却法人会計分他 |
| 消耗備品費 | 100 | 350 | △ 250 | 事務所用備品 |
| 消耗品費 | 1,624 | 1,441 | 183 | 総会、理事会等開催経費他 |
| 修繕費 | 800 | 800 | 0 | 会館建物修繕費 |
| 印刷製本費 | 1,785 | 1,715 | 70 | 総会、理事会等開催経費他 |
| 燃料費 | 0 | 0 | 0 | |
| 光熱水料費 | 580 | 547 | 33 | 会館電気料等法人会計分 |
| 賃借料 | 2,770 | 2,563 | 207 | 印刷機等賃借料 |
| 保険料 | 850 | 850 | 0 | 障害保険、役員賠償保険等 |
| 諸謝金 | 2,829 | 2,340 | 489 | 総会、役員研修講師謝金 |
| 租税公課 | 4,900 | 4,200 | 700 | 固定資産税、消費税の法人会計分、消費税増額 |
| 支払負担金 | 5,200 | 5,100 | 100 | 管理組合負担金法人会計分等 |
| 支払助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| 委託費 | 1,260 | 1,100 | 160 | PC保守等及び会費収納委託 |
| 雑費 | 50 | 50 | 0 | |
| 管理費計 | 63,596 | 58,567 | 5,029 | |
| 経常費用計 | 762,564 | 756,302 | 6,262 | |
| 当期経常増減額 | △ 15,836 | △ 2,626 | △ 13,210 | |
| 2　経常外増減の部 | | | | |
| (1)経常外収益 | 0 | 0 | 0 | |
| (2)経常外費用 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 15,836 | △ 2,626 | △ 13,210 | |
| 一般正味財産期首残高 | 949,357 | 905,087 | 44,270 | |
| 一般正味財産期末残高 | 933,521 | 902,461 | 31,060 | |
| Ⅱ　指定正味財産増減の部 | | | | |
| 特定資産受取利息 | 178 | 178 | 0 | |
| 一般正味財産への振替額 | 8,543 | 8,543 | 0 | |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 8,365 | △ 8,365 | 0 | |
| 指定正味財産期首残高 | 780,229 | 798,818 | △ 18,589 | |
| 指定正味財産期末残高 | 771,864 | 790,453 | △ 18,589 | |
| Ⅲ　正味財産期末残高 | 1,705,385 | 1,692,914 | 12,471 | |

## 資金調達及び設備投資の見込を記載した書類

(1)資金調達の見込について

| 借り入れの予定 | | □　あり | ■　なし |
|---|---|---|---|
| 事業番号 | 借入先 | 金額 | |
| | | | |

(2)設備投資の見込について

| 設備投資の予定 | | □　あり | ■　なし |
|---|---|---|---|
| 事業番号 | 設備投資の内容 | 支出又は収入の予定額 | 資金調達方法又は取得資金の使途 |
| | | | |

公益社団法人 静岡県看護協会
〒422-8067静岡市駿河区南町14-25エスパティオ3階
TEL.054-202-1750 ／ FAX.054-202-1751　編集責任者：渡邊昌子
令和2年5月28日発行